

田沢湖図書館 ☎ 43-1307  
 3休 4日(月)、11日(月)、18日(月)、20日(水・祝)、25日(月)  
 学習資料館 ☎ 43-3333  
 3休 4日(月)、11日(月)、18日(月)、20日(水・祝)、25日(月)、31日(日・月末整理休館日)  
 イベント交流館(新潮社記念文学館) ☎ 43-3333  
 3休 4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

## 田沢湖図書館からお知らせ

ギャラリー開催

孫 雅由の世界

●会期/ 3月1日(金) ~ 31日(日)  
 ●会場/ 田沢湖図書館 1・2階ロビー (入場無料)

平成24年12月7日に河正雄氏から田沢湖図書館へ贈られた作品15点を公開します。  
 水彩画・版画・鉛筆画と多彩な孫氏の世界をどうぞご覧ください。



## おかあさん、準備はいいですか？

もうすぐ春。ぴかぴかの子供たちの春!!  
 入園・入学の必須アイテムをご紹介します。



## おはなしかい うさぎのみみ



●日時/ 3月2日(土) 10:00 ~  
 しましまとらの「しまじろう」のおはなしをします。エプロンシアターは「おおきなかぶ」です。さいごにみんなで「ぬりえ」をします。  
 おりがみでつくった「おひなさま」をプレゼントします。  
 ともだちをさそってみんなできてね!  
 ●学習資料館では毎月第1土曜日に楽しいおはなし会を開いています。

## 学習資料館からお知らせ

### 恋愛小説をピックアップ

学習資料館では「ホワイトデーに贈る様々な愛の形」というテーマで、小説を展示しています。展示している本はすべて貸出できますので、家でゆっくり読んでみてはいかがでしょうか?



### 新潮社から寄贈された図書を紹介します

「(霊媒の話より)題未定」安部公房/「リカーシブル」米澤穂信/「治療するとカワイクくなります」大平健/「ニュータウンは黄昏れて」垣谷美雨/「紅葉街駅前自殺センター」光本正記/「源氏物語を知っていますか」阿刀田高/「ヒップホップの詩人たち」都築響一/「続 田辺聖子の古典まんたら」田辺聖子/「台所のニホヘト」伊藤まさこ/「冬芽の人」大沢在昌/「南紀新宮・徐福伝説の殺人」西村京太郎/「いちばん長い夜に」乃南アサ/「ちょうちんそで」江國香織/「キミトピア」舞城王太郎/「ドナルド・キーン作品集 第六巻」ドナルド・キーン/「北朝鮮帰還」を阻止せよ」城内康伸/「努力が結果につながらない人に気づいてほしいこと」加藤三彦/「ブルドックソース レシピ帖」ブルちゃん愛好会/「インフォメーション」ジェイムズ・グリック/「皮膚感覚と人間のこころ」傳田光洋/「江戸の献立」福田浩・松下幸子・松井今朝子/「私の好きなもの」岡尾美代子・高橋みどり・東野翠れん・福田里香/「日本の宿命」佐伯啓思/「男の貌」高杉良/「原発と政治のリアリズム」馬淵澄夫/「武士道とキリスト教」笹森建美

●新潮社文庫新刊も多数寄贈されています。  
 このほか、たくさんの新着図書が入ってきています。

## 『平成25年度予算の概要速報』

仙北市長  
 門脇 光浩

受験に挑む皆さんへ。「体調管理にご注意を。心配しないで。きっと大丈夫。人生は必ず拓けます。」さて、間もなく新年度がスタートします。市民生活を支え、産業育成と地域の活力づくりを進めたい、市勢全体をパワーアップしたい、そんな思いで予算編成に取り組みました。一般会計は市誕生以来で最大の188億2000万円、特別会計・企業会計を合わせると369億円の規模に達します。少し内容をご紹介します。継続事業では岩瀬北野線整備、各交通基盤整備、道路改良・河川改良、光ファイバー整備、農業夢プラン推進、ふれあいの森整備、住宅リフォーム促進、小学生まで医療費支給、各種予防事業、クニマスプロジェクト、弘道書院復元調査、地域運営体活動など…。新規事業は大規模肥育牛団地整備、角館駅東西自由通路整備、新規道路・河川事業、市民会館改修整備、全市LED街灯整備、保育園待機児童支援、在宅子育て支援、障がい

者タクシー利用券給付、訪問看護ステーション整備、人工透析通院支援、病院建築負担金(厚生連)、種苗交換会費用、キャリア教育・ふるさと学習支援、国民文化祭推進費、JRTディスプレイーションキャンペーンなど。市独自の雇用創出にも取り組みます。特別会計は神代地区への水道拡張や公共下水道整備、企業会計では病院建築や新医療機器導入経費、温泉施設の管理経費などを計上しています。性質別で昨年度と増減を比較してみます。収入では市税で1億円の増額、地方交付税は1億円の減額、事業財源となる国・県支出金や市債は合わせて5億円の増額です。一方、支出では人件費が1億円の減額、借金返済にあてる公債費も3億円の減額です。事業調査や施設修繕、災害廃棄物対策などに使う物件費、生活を守る扶助費、各種活動を支援する補助費等は合わせて3億円の増額、建設事業は7億円の増額です。今後の議会の議論、一般質問等にご注目ください。

雪国に暮らす私たちにとってこの季節は毎日の除・排雪でウンザリする気持ちになりがちですが、この雪を楽しもうと本市を訪れる観光客や雪国の暮らしぶりなどを紹介するテレビ番組撮影隊も多くやってくる季節でもあります。

2月19日、オーストラリアBS放送局(国営放送)の監督スコット・トンブソンさんが日本国内の旅と日本の食文化を紹介する番組「ドステイネーション・フレーザー」のロケハンのため本市角館を訪れ、西宮家・武家屋敷・石黒恵家を下見しました。この番組は、オーストラリアの著名シェフが日本の料理や食材を解明し、日本食の醍醐味を紹介する番組で、撮影は3月中旬、日本をイメージする場所での料理を作る場所を探しているとのことでした。

撮影時期が3月中旬ということで、雪がまだ残っていること、建物には雪囲いが残ったままの状態だと話したところ、「雪も日本をイメージする素材の一つ、日本家屋と雪景色の背景でも十分撮影構想から外れるものではない」また、雪囲いは「外からの光が差し込まない状況を作ってくれるので撮影にはかえって好都合」とも話してくれました。ただし、屋内での撮影場所を探している際、座敷の床の間での撮影を勧めたところ「外国人が床の間を見てもその場所がどのような意味を持った部屋なのかイメージが持てないだろう」とのことから、撮影候補から外れてしまいました。撮る側、見る側の両側面に立った位置で番組作りをしなければならぬ瞬間を考えさせられた案内でもありました。



かくのだてフィルムコミッション (仙北市観光課内)  
 ☎ 43-3352 http://kakunodate-fc.jp/